

東京大学法学部教授

# 石川 健治 ISHIKAWA KENJI

1962年生まれ。東京大学法学部卒。東京都立大教授を経て、2003年から東京大学法学部教授。憲法学。

著書に「自由と特権の距離（増補版）」（日本評論社、2007）、編著に「学問／政治／憲法 一連環と緊張」（岩波書店、2014）など。

立憲デモクラシーの会 呼びかけ人

東京大学教養学部教授

石田 淳

ATSUSHI ISHIDA

東京大学法学部卒業（1985年）、シカゴ大学で博士号（政治学）取得。

外交や国際秩序の諸課題に関する理論研究を専門とする。

日本平和学会会長、日本国際政治学会理事長、東京大学大学院総合文化研究科長・教養学部長などを歴任。

現在、東京大学大学院総合文化研究科教授。

共著に、『国際政治学』（有斐閣、2013年）など

ND代表 ND上級研究員・弁護士（日本・ニューヨーク州）・立教大学講師・沖縄国際大学特別研究員

## 猿田佐世 SAYO SARUTA

早稲田大学法学部卒業後、タンザニア難民キャンプでのNGO活動などを経て、2002年日本にて弁護士登録、国際人権問題等の弁護士業務を行う。2008年コロンビア大学ロースクールにて法学修士号取得。2009年米国ニューヨーク州弁護士登録。2012年アメリカン大学国際関係学部にて国際政治・国際紛争解決学修士号取得。大学学部時代からアムネスティ・インターナショナル、ヒューマン・ライツ・ウォッチ等の国際人権団体に活動。

ワシントン在住時から現在まで、各外交・政治問題について米議会等で自ら政策提言を行う他、日本の国会議員や地方公共団体等の訪米行動を実施。米議員・米政府面談設定の他、米シンクタンクでのシンポジウム、米国連邦議会における院内集会等を開催。

研究課題は日本外交。基地、原発、日米安保体制、TPP等、日米間の各外交テーマに加え、日米外交の「システム」や「意思決定過程」に特に焦点を当てる。

# 伊藤 真 MAKOTO ITO

## 略歴

1981年司法試験合格。  
真の法律家を育成する伊藤塾を主宰、弁護士。

選挙無効訴訟、安保法制違憲訴訟、憲法53条違憲国家賠償請求訴訟、岡口基一裁判官弾劾裁判の弁護団に加わり、憲法価値の実現と立憲主義の回復に取り組んでいる。

日弁連憲法問題対策本部副本部長。